

台風を操る!?

未来の技術「気象制御」は
何をもたらす?



生態系に
どんな
影響がある?

台風の被害を
減らせるって
本当?

台風の進路を
変えることは
できる?

12月11日(日)

14:30 - 17:00

(受付開始: 14:00 ~)

※ 新型コロナウイルス感染拡大の状況により、本催しが中止になる場合は、科学自然都市協働連合HPで告知します。ご来場の前に、ご確認ください。

会場: 和歌山城ホール 4階大会議室

定員: 50名 (先着順・定員になり次第締切)

参加費: 無料

お問合せ・お申込み:

東京大学生産技術研究所社会連携・史料室

メール: nikou@iis.u-tokyo.ac.jp

Googleフォーム

右のQRコードからお申込み下さい。

<https://forms.gle/jzJiZ1dCSHp4AD186>



詳細は裏面へ



概要

台風を操る！

驚きの技術の可能性を追求する研究プロジェクトが、今年6月にスタートしました。台風の進路や規模を制御することができたら、安全・安心な生活がやってくるかもしれません。

一方、気象を制御することで思いがけないことが起きる可能性もあります。降水量が減って喜ぶ人ばかりではないかもしれません。生態系への影響はどうでしょう。台風を操る技術を受け入れるとしたら、あらかじめ何を考え、話し合い、対処したらよいでしょうか。

防災にかかわる最新の研究成果や気象制御技術のプロジェクトの説明を聞き、気象制御がもたらす「あなたの未来」を想像してみませんか？

どなたでも参加歓迎！特別な知識も不要です。

プログラム

■ 講演

和歌山市役所 総合防災課

「和歌山市の災害発生状況について」

東京大学大学院工学系研究科

南出 将志 助教

「気象制御に向けて
～台風予測の最前線～」



■ 対話

東京大学生産技術研究所
松山 桃世 准教授



お申込み

いずれかの方法でお申し込みください。

お申込み期日：12月8日（木）正午

■ メール：nikou@iis.u-tokyo.ac.jp

件名を「ワークショップ参加希望」として
以下必要事項を記入の上、ご送信ください。

- ・お名前・当日連絡先
- ・所属機関名（部署名まで）又は学校名・学年
（QRコードからメール作成画面へ）



■ Googleフォーム

右のQRコードからお申し込みください。
(<https://forms.gle/jzJiZ1dCSHp4AD186>)



■ Fax：03-5452-6746

下記に必要事項を記入の上、当チラシをご送信下さい。
★お名前／所属機関（部署名まで）又は学校名・学年

★メールアドレスまたは当日連絡先

個人情報は、当イベントの運営以外には使用いたしません。

会場

■ 和歌山城ホール 4階大会議室

和歌山市七番丁25番地の1（和歌山市役所隣り）



■ 主催

ムーンショット型研究開発事業 目標8

研究開発プロジェクト

「社会的意思決定を支援する気象-社会結合系の制御理論」

■ 共催



東京大学生産技術研究所
Institute of Industrial Science, The University of Tokyo



科学自然都市協創連合

■ 協力



和歌山市
Wakayama City



東京大学生産技術研究所
オープンエンジニアリングセンター

■ お問い合わせ

東京大学生産技術研究所社会連携・史料室

E-mail：nikou@iis.u-tokyo.ac.jp

Tel：03-5452-6871/6730

新型コロナウイルス感染予防のため、
会場内でのマスク着用・手指の消毒等にご協力をお願いします。